

PwC Japan & PwC Germany Joint Seminar

日系企業が絡むM&A後のガバナンスに関する諸問題

開催趣旨

依然として日系企業のM&Aはグローバルで活発に行われています。しかし、M&Aの増加とともにM&A後の企業価値向上に悩む日系企業も増加しているのが現状です。M&Aを通じたグローバルでの事業展開を真の意味で成功させるためには、「ガバナンスを効かせる」という視点も重要です。

そこで、この度、「日系企業が絡むM&A後のガバナンスに関する諸問題」と題し、PwC JapanとPwC Germanyがドイツにおいてジョイントセミナーを開催いたします。

PwC Japanがご説明する日本本社からの視点、PwC Germanyがご説明する現地ドイツからの視点でのガバナンスのあり方が、皆様の持続的な企業価値向上に向けた取り組みのご参考になれば幸いです。

ご多忙のところと存じますが、是非参加頂きたく、ご案内申し上げます。

敬具

PwC Japan (PwCコンサルティング合同会社)
リスクコンサルティング事業部 パートナー 齋藤 篤史

開催概要

- 日時: **2019年9月23日(月)・25日(水) 14:00 受付開始**
14:30-16:25 セミナー ※セミナー終了後 Cocktail reception開催
- 場所: **2019年9月23日(月) PwC Germany フランクフルト事務所 セミナールーム**
Friedrich-Ebert-Anlage 35-37, 60327 Frankfurt am Main (地図参照) Tel: +49-69-9585-0
2019年9月25日(水) PwC Germany デュッセルドルフ事務所 セミナールーム
Moskauer Str.19, 40227 Düsseldorf (地図参照) Tel: +49-211-981-7379
- 対象: 金融業以外のシニアビジネスエグゼクティブで、
業務におけるガバナンス、リスク、コンプライアンスを担当している皆様
- 定員数: 各会場 20名
- 言語: 英語(配布資料は日本語訳あり)
- 参加費: 無料
- お申し込み: **貴社名・部署名・御名前・役職・ご参加希望会場(フランクフルト・デュッセルドルフ)・Cocktail reception参加可否・駐車場の要否(フランクフルト会場のみ)を**
坂田 めぐみ megumi.sakata-roggelin@pwc.com までご連絡ください。
- お問い合わせ先: (セミナー内容関連) 小峰孝之 takayuki.komine@pwc.com
(会場関連) 坂田 めぐみ Tel: +49-211-981-7379

■個人情報の取り扱いについて

お申し込みの際にご記入いただきました個人情報は、PwCコンサルティング合同会社の個人情報保護方針に従って適切に管理いたします。詳細の取り扱いについては、ウェブサイトの個人情報保護方針をご覧ください。

<https://www.pwc.com/jp/ja/sitemap/privacy/consulting.html>

* PwC Japanグループは、日本におけるPwCグローバルネットワークのメンバーファームおよびそれらの関連会社(PwCコンサルティング合同会社を含む)の総称です。各法人は独立して事業を行い、相互に連携をとりながら、監査およびアシュアランス、コンサルティング、ディールアドバイザリー、税務、法務のサービスをクライアントに提供しています。



プログラム

時間	セッションタイトル	講演者
14:00-14:30	受付開始	
14:30-14:35	Opening remarks	PwC Japan (PwCコンサルティング合同会社) リスクコンサルティング事業部 パートナー 齋藤 篤史
14:35-15:20	<Session1> 日本におけるコーポレートガバナンス の動向および日本本社から見た海外 子会社管理の主要課題と事例(地域統 括会社等)	PwC Japan (PwCコンサルティング合同会社) リスクコンサルティング事業部 ディレクター 若井 潔
15:20-15:35	Break	
15:35-16:20	<Session2> 日本企業によるドイツ企業買収におけ るPMIに関するマネジメントおよび税務 の観点からの実務上の経験	PwC Germany ジャパンデスクリーダー パートナー Nikolaus Thoens PwC Germany ジャパンデスク マネージャー 片山 貴裕
16:20-16:25	Closing remarks	PwC Germany ジャパンデスク ディレクター 藤村 伊津
16:30-17:30	Cocktail reception	

※プログラム内容、講演者については変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

登壇者紹介 (登壇順)



PwC Japan (PwCコンサルティング合同会社)
リスクコンサルティング事業部
パートナー 齋藤 篤史 atsushi.saito@pwc.com

都市銀行・コンサルティングファームでの勤務を経て、2010年1月にPwCに参画、東京丸の内事務所勤務。コンサルティングにおいては、17年以上にわたり、総合商社、メガバンクを中心に、リース会社、製造業、電力・ガス業界、食品・消費財業界などの幅広いクライアントに対してコンサルティングサービスを提供。

主に、ERM(全社的リスクマネジメント)、統合リスク管理(リスクアセット計測)、収益変動リスク管理、事業ポートフォリオ管理、事業投資評価・管理、リスク・リターン管理、内部統制等のリスクと一体化した経営管理関連サービスを専門とする。

登壇者紹介



PwC Japan (PwCコンサルティング合同会社)
リスクコンサルティング事業部
ディレクター 若井 潔 kiyoshi.wakai@pwc.com

PwCのリスクコンサルティングチームに所属し、主に、製造業、金融サービスを中心に、日系グローバル企業における統合的リスクマネジメント(ERM)やコーポレートガバナンスの改善支援を提供。

また、ファイナンス分野の経験も豊富で、国内外の大手企業におけるファイナンスストラクチャリング(グローバルベースでの管理部門のオペレーション効率化およびコントロール強化の推進)を支援した実績がある。

加えて、企業再生をはじめとしたディール案件の経験も豊富で、企業の主要利害関係者(例:創業者、株主、債権者など)の視点からガバナンスの問題を考察することを得意とする。



PwC Germany
ジャパングリッドリーダー
パートナー [Nikolaus Thoens nikolaus.thoens@pwc.com](mailto:nikolaus.thoens@pwc.com)

1994年9月にPwCに入社。ロンドン及びハンブルク事務所を経てデュッセルドルフ事務所勤務。PwC東京事務所での2年間の駐在経験あり。

PwC Germanyのパートナーであり、ドイツ及びヨーロッパの日本企業ビジネスチームのリーダーでもある。

弁護士、税務専門弁護士、税理士であり、20年以上の国際税務、法務に関する経験を有する。

在独日系企業のドイツ及びヨーロッパへの投資をサポートし、買収、クロスボーダーを伴う組織再編、税務プランニング作成に焦点を当てたアドバイスを提供している。



PwC Germany
ジャパングリッド
マネージャー 片山 貴裕 takahiro.x.katayama@pwc.com

2015年にPwC税理士法人に入社以来、税理士(日本)として国際税務、クロスボーダートランザクションや日本企業による外国企業の買収を中心としたM&A業務に従事。PwC税理士法人では、国際税務/M&Aタックスグループに所属。

2018年より、PwC Germanyへ出向し、デュッセルドルフ事務所のジャパングリッドにおいて、在独日系企業に対して一般的な税務関連のサービスを提供するとともに、クロスボーダーでの組織再編、リストラクチャリング、VATの取扱い、日本企業によるドイツ企業の買収時のM&Aサービス等、様々な税務アドバイスを提供している。

登壇者紹介



PwC Germany

ジャパンデスク

ディレクター 藤村 伊津 itsu.x.fujimura-hendel@pwc.com

1993年よりドイツ在住。ドイツ公認会計士、米国公認会計士
1999年にBig4のミュンヘン事務所に入社後、1993年にはフランクフルト事務所へ
移動し、2011年以降はデュッセルドルフ地域のクライアントも担当。

2017年10月よりPwCへ入所。PwC Germany ジャパンデスクの日本人リーダー
となる。

日系企業の様々な業種、規模に係わらず監査業務に携わるのと同時に、PwCが
提供する税務、法務、アドバイザー等、全ての部門においての第一コンタクト
パーソンでもある。

企画・サポートメンバー紹介



PwC Japan

Markets部 Risk & Governance担当

シニアマネージャー 小峰 孝之 takayuki.komine@pwc.com

Law schoolおよびRisk & Governance関連業務に従事して約7年の知見を活かし、Risk & Governance担当として、事業会社の法務・コンプライアンス部門、内部監査部門、経理部門、経営企画部門等が抱える様々な課題を解決するためPwC Japanのソリューションを数多くのクライアントに提供している。

一方、eディスカバリー(米国訴訟における電子証拠開示手続)コンサルタントとして自動車部品会社、海運会社、精密機械会社等の米国司法省を始めとする当局による国際カルテル調査案件および訴訟に多数従事。

eディスカバリーに関し、事業会社のみならず早稲田大学法科大学院、慶応義塾大学法科大学院、中央大学法科大学院、企業研究会等で講演多数。

会場のご案内

PwC Germany フランクフルト事務所

Friedrich-Ebert-Anlage 35-37

お車でのご来場には、弊社地下駐車場をご利用ください。駐車場入口は建物の裏側、OsloerStr.側となります。(カーナビにはOsloerStrをご入力ください)その後は、Tower 185の駐車場の標識に沿ってお進みください。

駐車場入口ゲートにて、セミナーもしくはミーティングでお越しの旨をお伝えいただけますと、駐車場番号をお知らせいたしますので、その番号の場所に駐車ください。

尚、弊社の地下駐車場の収容台数には限りがあるため、一部のお客様にはご利用いただけない可能性もございます。その場合は、誠に申し訳ございませんが、ショッピングセンター、SkylinePlazaFrankfurtの有料駐車場をご利用ください。



PwC Germany デュッセルドルフ事務所

Moskauer Strasse 19 D-40227 Düsseldorf

電車でお越しの方:

中央駅にてU-75(10分毎に運行)に乗換えMoskauerstr.側の出口を出てすぐ右手のビルです。

お車でお越しの方:

駐車場入口インターフォンにてセミナーでお越しの旨お伝えください。地下1Fのゲスト専用駐車場をご利用ください。

